

描かれた

天神さま

Scrolls: Depictions of Tenjin

前期 令和5年 12月9日(土) — 令和6年 2月18日(日)

後期 令和6年 2月23日(金祝) — 令和6年 5月6日(月休)

開館時間 9時〜16時30分(入館は16時まで) 休館日: 月曜日 (12月25日、1月1日、8日、2月12日、3月25日、4月29日を除く)、2月20日(火)、22日(木)

併催 初公開

狩野山雪筆「山水花鳥図屏風」(江戸時代/17世紀)

描かれた

天神さま

Scrolls: Depictions of Tenjin

前期 令和5年 12月9日(土) — 令和6年 2月18日(日)

後期 令和6年 2月23日(金祝) — 令和6年 5月6日(月休)

開館時間 9時〜16時30分(入館は16時まで) 休館日: 月曜日 (12月25日、1月1日、8日、2月12日、3月25日、4月29日を除く)、2月20日(火)、22日(木)

併催 初公開

狩野山雪筆「山水花鳥図屏風」(江戸時代/17世紀)

後期 初公開

渡唐天神像(部分)

長沢芦雪筆、江戸時代(18世紀)



太宰府天満宮 宝物殿 第1・2展示室

〒818-0117 福岡県太宰府市宰府4-7-1

お問い合わせ: TEL 092-922-8225(代表 9時〜16時)

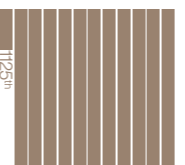
観覧料: 一般500(400)円・高大生200(100)円・小中生100(50)円

※(内は30名以上の団体料金、障害者手帳提示により付添者1名まで半額料金)

主催: 太宰府天満宮/後援: 太宰府市、太宰府市教育委員会
監修: 山下善也氏(美術史家・近世絵画 同志社大学講師)



太宰府天満宮



前期

初公開

東帯天神背面立像・日月松梅図 狩野昌運季信筆、江戸時代(17世紀)

太宰府天満宮 宝物殿 第1・2展示室

〒818-0117 福岡県太宰府市宰府4-7-1

お問い合わせ: TEL 092-922-8225(代表 9時〜16時)

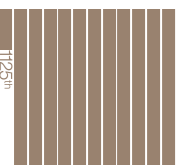
観覧料: 一般500(400)円・高大生200(100)円・小中生100(50)円

※(内は30名以上の団体料金、障害者手帳提示により付添者1名まで半額料金)

主催: 太宰府天満宮/後援: 太宰府市、太宰府市教育委員会
監修: 山下善也氏(美術史家・近世絵画 同志社大学講師)



太宰府天満宮





前期:道真化現(上巻)、柘榴天神(中巻)／後期:都良香邸弓遊(上巻)、恩賜御衣(中巻)本図

○講座 参加費:無料／定員:各50名(先着)

「天神さまの絵姿七変化」

日時:令和6年2月17日(土)14時~15時半

会場:講座室(宝物殿地下)

講師:山下善也氏(美術史家・近世絵画／本展監修)

「天神と渡唐天神—中世天神画像の諸相」

日時:令和6年3月10日(日)14時~15時半

会場:講座室(宝物殿地下)

講師:福島恒徳氏(花園大学教授・中世絵画)

「再発見の狩野山雪筆“山水花鳥図屏風”、その魅力」

日時:令和6年4月20日(土)14時~15時半

会場:講座室(宝物殿地下)

講師:山下善也氏(美術史家・近世絵画／本展監修)

お問い合わせ・お申し込み:太宰府天満宮文化研究所

電話092-922-8225(代表9時~16時)

FAX 092-920-5556

メール art@dazaifutenmangu.or.jp

講座名、参加者氏名、電話番号をご明記ください。

詳細は追ってご連絡します。

境内美術館:https://keidai.art/

●同時開催:企画展示室

Painting—太宰府天満宮アートコレクションより

河原温、菊畑茂久馬の作品など、近年収蔵した

多彩な現代絵画とともに、anonymous collection

より奉納された田島美加の作品を初公開します。

前期・後期で、一部展示内容を変更予定。

○太宰府天満宮 仮殿

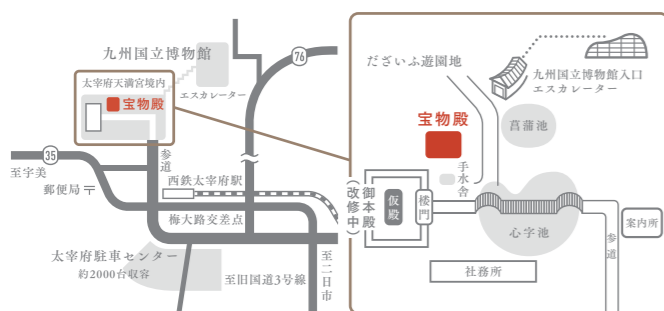
令和9年(2027)菅原道真公1125年式年大祭に

向け、約3年間の御本殿大改修中のため、現在

「仮殿」にてご参拝の皆様をお迎えしています。



○会場アクセス



通期 ※期間中、場面の入れ替えがあります
天神縁起絵巻(元和本)
徳勝院法印禅昌詞、江戸時代、1619年(元和5)

後期 白隠慧鶴筆、江戸時代(18世紀)
文字絵渡唐天神像(部分)



特別公開

板絵菅公像

佐脇嵩之筆、江戸時代、1747年(延享4)

会期:令和6年1月30日(火)~令和6年2月18日(日)

期間限定で実作品を公開します(通常、複製展示)

後期 室町時代(16世紀)
綱敷天神像



道真公は九州上陸の際、漁師が数物代わりに巻いた船の綱の上に坐した。左遷という不相应な境遇に激しい怒りがこみあげ、髪は真っ白に。



後期 伝雪舟等楊筆、嘯岳鼎虎賛、室町—桃山時代(16世紀)
東帯天神像(部分)

初公開



前期 見返り菅公立像 木村耕巖筆、明治時代(19—20世紀)



前期 東帯天神像 下村観山筆、明治時代、1902年(明治35)



前期 渡唐天神像 初期狩野派筆、室町—桃山時代(16世紀)



前期 東帯天神像 伝巨勢有家筆、伝世尊寺行尹賛、南北朝—室町時代(14世紀)



前期 初公開 渡唐天神像 玄沢筆、伝陽光院誠仁親王賛、室町—桃山時代(16世紀)

ぜんぶ、天神さま。

※展示内容は変更する場合があります。



狩野山雪筆「山水花鳥図屏風」
江戸時代(17世紀)
天神さまの守り鳥「鶯」をはじめ計33種の鳥たちが描かれます。

通期 初公開

日本史上きっての文化人で優れた政治家として名高い菅原道真公(845-903)は、大宰府で清らかな生涯を閉じられました。御墓所の上に祠廟が造営されたのが太宰府天満宮の草創であり、以来、道真公は天神さまとして崇敬を集めてきました。

信仰の対象として描かれた姿は、和装の「東帯天神像」と唐服の「渡唐天神像」に大別されます。「東帯天神像」は、平安貴族の正装の姿で、ゆかりのある梅や松とともに描かれます。一方「渡唐天神像」は、天神さまが大陸に渡り、禅の教えを受け袈裟を授けられたという時空を超えた伝説とともに大流行しました。

このたび、伝来品から近年収蔵のものまで140点を超える天神像コレクションから、40点を厳選しご紹介いたします。南北朝時代14世紀から近代20世紀までの600年、時代の流れを受けて変容してきた天神さまの絵姿をお楽しみください。

さらに、82年ふりに再発見された名品「狩野山雪筆「山水花鳥図屏風」」をあわせて初公開いたします。伊藤若冲や長沢芦雪に先駆ける奇想の画家として注目される肥前生まれの山雪の極上の作品世界をぜひ堪能ください。